

3部

12月
科目修了試験の
ご案内

1 12月科目修了試験の受験申込み

2017年度第6回科目修了試験を p. 17の日時・会場で実施します。

試験実施日	申込締切・ レポート締切日	受験通知書 到着予定日	結果通知ハガキ 発送予定日
12/2(土)・ 12/3(日)	11/15(水)必着 (または、11/11 (土)消印有効)	11/22(水) ※11/22までに届かない場合は 11/23午前中までに通信教育部 までご連絡ください。	1/5(金)

※受験科目の追加は11/16(木)午前まで、受験会場の変更は11/23(木)午前まで受け付けます。

2 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』7章（2017版は4章2節）
- 教科書持込可科目 → 受験通知書にその旨記載の科目（人間と宗教、文学入門、国際福祉論、福祉社会学、知的障害者福祉論、老年心理学、介護概論、統計情報を見る眼、カウンセリング、福祉科の指導法、保健と食と栄養、教職論（特例）、初等教育課程の意義と編成）ほか
- 自筆ノート持込可科目 → 相談支援
- 卒業試験について → 『学習の手引き』5章（2017版は7章）参照
- 試験結果通知後「不可」の理由が不明の場合 → 『学習の手引き』6章（2017版は4章1節）「担当教員への質問」の利用が可
- 本学職員による学習相談が可能な会場 → 仙台
- メールによる問合せ先 → ut@tfu-mail.tfu.ac.jp（結果照会は不可）

3 12月科目修了試験の実施日時・会場

会場地図 → 『試験・スクーリング情報ブック2017』 p. 208～222参照

日時	都市名	会場名
12/2(土) 13:30集合	札幌	かでの2・7 7階710会議室
	青森	アスパム 6階八甲田
	宮古	シーアリーナ 3階ミーティングルーム
	酒田	酒田市中央公民館 3階309・310号室
	小山	白鷗大学 東キャンパス5階501教室
	東京(注1)	東北福祉大学 東京サテライト(四ツ谷)
	長岡(注2)	長岡こども福祉カレッジ 1号館
	静岡	静岡県立大学短期大学部 小鹿キャンパス 教育棟1階103教室
12/3(日) 9:45集合	仙台(注3)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	盛岡	アイーナ 8階研修室812
	郡山	郡山女子大学 83年館2階821教室
	東京(注1)	東北福祉大学 東京サテライト(四ツ谷)
	新潟(注2)	新潟医療福祉カレッジ 2号館
	福岡	福岡市立博多市民センター 5階第四会議室

(注1) いずれか一方の日程のみ受験可。開場予定時刻は集合40分前。

(注2) スリッパ等の上履きをご持参ください。

(注3) 使用教室は当日の案内掲示板でご確認ください。

時間割	12/2(土) 13:30集合会場	12/3(日) 9:45集合会場
1科目め	13:45～14:30	10:00～10:45
2科目め	14:30～15:15	10:45～11:30
3科目め	15:15～16:00	11:30～12:15
4科目め	16:00～16:45	12:15～13:00

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●介護概論 後藤 美恵子

- ・教科書だけでは分からない、介護の現実や課題など講義を聞いて理解が深まった。介護といっても十分な知識や体制が整っていないと、利用者が苦痛になりかねないということが分かり、実際の介護現場での大変さを感じた。
- ・先生からの実体験を聞くことで、介護の大変さと楽しさを感じることができた。とても参考になりました。

●社会保障論 阿部 裕二

- ・子ども保険を施行するには何が必要なのか、3日間考えているのがとても楽しかったです。学びが深まりました。
- ・社会保障は私達のすぐく身近なものなのに、社会福祉学を学ぶまでは知りませんでした。生きていくうえでとても必要なことだと思うので、もっと早い段階で勉強すべきだと思います。
- ・社会保障における課題問題点が明確になり、社会福祉士として今後この部分にどうかかわっていくべきなのかを深く考えることができた。

●社会調査の基礎 三浦 剛

- ・ソーシャルワークの視点として、どのような意味を持つのかデータを基に根拠を持つこと、実証することの大切さを学ぶことができました。職場においても、計画・実施・自己評価をより専門性を高めていけるよう、取り組みたいと思いました。
- ・日々業務の中で、エビデンスを求められることが多く、統計への理解も難しく感じていましたが、どうして求められるのかその必要性、改善点などが整理できました。

●老年心理学 吉川 悠貴

- ・社会福祉学科との講義とは違った視点（心理的側面）から高齢者をみることで、より深いところまで考えさせられた。
- ・認知症の人への支援時に、アルツハイマー型と前頭側頭型認知症型の症状を取り上げ、同じ徘徊の様にみえても、その人がかかえているものは違うため、その人に合わせた対応、疾患別ケアという考え方が必要であるということがわかった。
- ・私が介護の現場で働いていた8年間とは、高齢者数や認知症に対する認識も変わっていると感じた。リアルタイムで新しいことを学び順応していくべきことであり、それを若い世代が知るべきだと思った。